

研究課題 (テーマ)		ロボットコンテストへの挑戦環境の整備	
研究者	所属学科等	職	氏 名
代表者	知能ロボット工学科	教授	神谷和秀
	知能ロボット工学科	教授	岩井 学
研究結果の概要			
知能ロボット工学科に入学した学生が国内外で開催されているロボットコンテスト等に参加できる環境を整えた。具体的には、2足歩行ロボットによるサッカー大会、および、ドローンコンテストへ参加するためのハードとソフトの準備を行った。 ロボットコンテストに関しては、引き続き2足歩行ロボットによるサッカー大会に関する環境整備を行った。昨年からの継続課題であったロボットのモーションの開発と調整を行い、歩行の安定化と転倒からの復帰動作の高速化を実現した。また、昨年まではブレッドボード上で動作していた無線システムを小型基板に実装し、ロボットに搭載することができた。年度当初に滋賀ダイハツハリナ (滋賀県大津市) で開催されたロボカップジャパンオープン 2024 へは本学チームとして参戦することはできなかったが、他チームの試合を観戦し、チームメンバ及び指導者との技術交流を行った。 ドローンコンテストに関しては、とやま学生交流ドローン競技会(12/14(土)、富山大学 五福キャンパスにて開催)に3年生3名がチームを結成して出場した。競技会には県内の高等教育機関や工業高校が参加した。プログラミングによる自動飛行で、コースに設定された障害物を避けて飛行し、観察エリアに設置された対象物を測定してから帰還する内容で競技が行われた。参加チームは3位に入賞した。大会は今後も継続される予定であり、本学科から継続して出場する予定である。なお、R7年は本学で開催する。			
今後の展開			
学生が自主的にロボットコンテストへ参加できる環境整備と指導を今後も継続的に行う。また、大会へ継続して参加し続けるためには、学生の費用負担の問題が壁となる。この問題に対しては、学生の活動を応援してもらえる企業スポンサーを募集することで解決していきたい。			